

平成 23 年度 環境技術実証事業検討会 地球温暖化対策技術分野
照明用エネルギー低減技術（反射板・拡散板等）
ワーキンググループ会合（第 3 回）
議事要旨

1. 日時：平成 24 年 3 月 9 日（木）11:00～12:30

2. 場所：三菱総合研究所 4 階 会議室 CR-C

3. 議事

- (1) 平成 24 年度 実証試験要領（案）について
- (2) 個別ロゴマークについて
- (3) 平成 23 年度 実証の状況について
- (4) 平成 24 年度 環境技術実証事業の実施体制等について
- (5) その他

4. 出席者

ワーキンググループ：近藤靖史 座長、寺嶋之朗 委員、藤原聡子 委員、
望月悦子 委員、山本哲雄 委員
環境省：長阪雄一 室長、武部憲和 係長、金子元郎 係員
実証機関：建材試験センター 藤本哲夫 氏、村上哲也 氏
事務局：MRI 内野、長谷川、水上、奥村
傍聴者 1 名

5. 配付資料

資料 1-1 平成 24 年度 実証試験要領（案）検討の論点について

資料 1-2 平成 24 年度 実証試験要領検討の論点

資料 2 個別ロゴマーク案

資料 3 実証試験結果（非公開資料）

資料 4-1 新たな環境技術実証事業の実施体制のイメージ

資料 4-2 環境技術実証事業実施要領（平成 24 年 4 月 1 日）

参考資料 1 ワーキンググループ会合（第 2 回）議事録（案）

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 平成 24 年度 実証試験要領（案）について

- ・ 資料 1-1、1-2 に基づき、議論がなされた。
- ・ 技術募集の中で、照明器具に塗布する高反射率塗料等の技術については、実証可能性を踏まえ、今後、実証試験要領に反映するか検討することとされた。
- ・ 「耐久性」を実証項目（参考項目）とすることについて、実証可能性、実証方法等を引き続き検討することとされた。

(2) 個別ロゴマークについて

- ・ 資料 2 に基づいて、議論がなされ、最終的に案 2 が採用された。なお、細かな文言については、後日修正することとされた。

(3) 平成 23 年度 実証の状況について

- ・ 資料 3 に基づいて、実証機関の建材試験センターより説明が行われた。特段の意見はなかった。

(4) 平成 24 年度 環境技術実証事業の実施体制等について

- ・ 資料 4 に基づいて、環境省より説明が行われた。

（文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室）